

③整理収納の実践—ストック(買い置き)の見直し

ストック品の代表的なモノはトイレットペーパー、ティッシュペーパー、シャンプー、せっけんなど。ほかに缶詰や乾物、調味料などもありますね。これらはどれだけストックしておけばよいのでしょうか。

以前の私は「置けるだけ置く」というスタンスでした。安売りのちらしを見てはとにかく買う。トイレットペーパーは5袋、ティッシュペーパーは5個パックで10セット、シャンプー・リンスは洗面所のかごの中に5個以上は常備など。卸問屋じゃあるまいし…。

こんな私でも、整理収納の勉強をしてからは考え方が変わりました。

ストック品は「自分で把握できる(管理できる)量」だけにします。また置き場所も1カ所に決めます。私の場合、トイレットペーパーは残り1~2個になった時点で買

整理収納アドバイザーからの手紙 ④

神村さゆり

「暮らし研究所How住まい」主宰
整理収納アドバイザー2級・一級建築士

いに行きます。すぐにビニールから取り出し、トイレに並べておきます。意外に思われるかもしれませんが、この方法で失敗したこと(切らしてしまったこと)はありません。シャンプーはなくなってから詰め替え用を買いに行きます。シャンプーは、なくなったと思っても容器の中に水を加えれば2~3日分使うくらいの量は残っています。

ストックがなくなると生活が実にシンプルになります。また必要なモノがすぐ分かるので買い物の目的も明らかになるのです。つまり無駄な「ついで買い」がなくなります。

ただしこの方法は、いつでも買い物するのに不便がないという生活環境が必要です。スーパーなどが遠くて買い物は一週間に一度という家庭なら、やはり一週間分のストックは必要です。

それぞれの家庭の生活環境と管理能力に合わせてストックの量を決めませんか? 収納スペースに頼ると死蔵品がますます増えてしまいます。



暮らし研究所からのお知らせ

整理収納アドバイザー2級認定講座

10月11日(月) 22,500円(定員8人)

整理収納プチセミナー9月18日(土) 2,500円
お子様連れ可(500円追加)お茶菓子付。

住所、氏名、電話番号を明記の上、FAX(897-1722)またはインターネット<http://www.kurashi-ken.net/>よりお申し込みください。

問い合わせ先 電話090-1364-5377